

ツール特集

社内配布 >> 社員に浸透を図る

コンプライアンス教育シート

— 不祥事を絶つ[意識・知識・行動] 最もやさしい研修ツール集 —

(株)日本能率協会総合研究所 産業経営研究部 リサーチ&コンサルティングセクター
ビジネスエシックス/コンプライアンス担当 チーフコンサルタント 中村葉志生

■コンプライアンス意識の醸成のために

企業組織の関係する犯罪・事件・事故が絶えない。今までも不祥事報道があるたびにコンプライアンス体制の不備、マインドの欠如が指摘され、各社ともにリスク管理の強化に努力してきたはずだ。にもかかわらず、不祥事は起きる。“悪いことをしない”というシンプルな命題が守られないところにコンプライアンスの難しさがある。

背景には、①「悪いと分かっているが歯止めが利かない組織風土」、②「そもそも何が悪いことなのか分かっていない知識不足」、の2つの側面がある。対策にあたっては職場研修をはじめ息の長い取り組みが求められるが、まず第一歩として社員一人ひとりの意識に訴えていくことを提案したい。本シートはどのようにも使える汎用性を確保してる。職場の勉強会などで配布し、コンプライアンス意識を共有するきっかけにはいかがだろう。(編集部)

~~本シート~~のPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します(無料)。ご希望の方はeditors@busi-pub.comまで購読者番号(本誌送付の宛名ラベルに記載)を明記の上、E-mailでお申し込みください(TEL、FAXは不可)。

構成

- はじめに
 - ・コンプライアンスを浸透させる3つの鍵
 - ・本シートの目的と活用方法
- コンプライアンスって何だろう？
- コンプライアンスは今に始まったことではない？
- なぜ私たちはコンプライアンスに取り組むのか？
- 企業不祥事はなぜ起こるのだろうか？
- コンプライアンスは、個人の問題？ 組織の問題？
- コンプライアンスを支えるリスク感覚とは？
- CSRって何？ 責任感のプラス・マイナスって何？
- なぜ個人情報の管理が大切なのか？
- 内部告発は良いことなのか？
- どんな考え方で取り組むのか？
- 環境問題は他人事ではない
- 健康で安全に働くためには？
- セクハラ・パワハラは何が問題なの？
- ちょっとした不正も許されない理由
- これからの組織、これからの人材とは？

■中村葉志生 (なかむら はしお)

1959年、東京生まれ。1987年、(株)日本能率協会総合研究所入社。大手企業はじめ数多くの企業、官公庁に対して企業倫理、職業倫理のコンサルティング、調査研究を展開中。主な著書に『コンプライアンスマニュアルを自社で作るためのモデル資料集』(アーバンプロデュース)、『実践ビジネスエシックス』(ミネルヴァ書房)など。CIA(公認内部監査人)、日本経営倫理学会会員、日本公益学会会員。

●連絡先：〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-38 秀和芝公園三丁目ビル4F Tel (03) 3578-7644 Fax (03) 3578-7614

●E-mail: hashio_nakamura@jmar.co.jp